

令和 5 年 4 月

城南学園幼稚園
園長 太田友子

令和 4 年度 教育評価の結果について

昨年 12 月実施の『教育アンケート』の結果をもとに、下記のとおり、学校関係者評価委員会を開催しました。

つきましては、教育評価の結果を別添のとおりご報告いたします。

記

城南学園幼稚園 学校関係者評価委員会

日時：令和 5 年 3 月 7 日（火）

会場：城南学園幼稚園 園長室

内容

1. 趣旨

学校教育法の改正により、平成 20 年度から「学校は文部科学大臣の定めるところにより、当該学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずること」とされている。

本園では、従前より「年度末反省」及び行事ごとに「保護者アンケート」を行ってきたが、上記法律の趣旨に鑑み、学校評価の一層の充実を図るため、平成 26 年度より学校関係者評価委員会（以下委員会）を設置する。

2. 評価の対象と意図

評価対象は、「教育力」「経営・運営力」「人材力」「その他」とし、幼稚園の運営状況及び教育活動についてその成果を検証し、必要な改善点を明確にし、さらなる質的向上を果たす。また、幼稚園が適切に外部に対して説明責任を果たすことにより、保護者や地域からの信頼を高め、連携を促進していくことを期待している。

3. 委員会の構成（令和 4 年度 敬称略）

- ・大方 美香（大阪総合保育大学 学長）
- ・菅 正隆（大阪城南女子短期大学 学長）
- ・山北 浩之（城南学園小学校 校長）
- ・東上 直（保護者会 会長）
- ・竹内 昭圭（地域代表）

学校委員

- ・太田友子（園長）・加藤慎也（事務局長）・戎島 歩（主任）

城南学園幼稚園

学校関係者評価委員会 設置要項

令和4年3月7日

1. 趣旨

学校教育法の改正により、平成20年度から「学校は文部科学大臣の定めるところにより、当該学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずること」とされている。

本園では、従前より「年度末反省」及び行事ごとに「保護者アンケート」を行ってきたが、上記法律の趣旨に鑑み、学校評価の一層の充実を図るため、平成26年度より学校関係者評価委員会（以下委員会）を設置する。

2. 評価の対象と意図

評価対象は、「教育力」「経営・運営力」「人材力」「その他」とし、幼稚園の運営状況及び教育活動についてその成果を検証し、必要な改善点を明確にし、さらなる質的向上を果たす。また、幼稚園が適切に外部に対して説明責任を果たすことにより、保護者や地域からの信頼を高め、連携を促進していくことを期待している。

3. 委員会の構成（令和4年度 敬称略）

- ・大方 美香（大阪総合保育大学 学長）
- ・菅 正隆（大阪城南女子短期大学 学長）
- ・山北 浩之（城南学園小学校 校長）
- ・東上 直（保護者会 会長）
- ・竹内 昭圭（地域代表）

学校委員

- ・太田友子（園長）
- ・加藤慎他（事務局長）
- ・戎島 歩（主任）

4. 委員会の開催

委員会の開催は年1回とする。（2月から3月にかけて）

5. 評価結果の報告と公開

- ・設置者（理事長）に報告（3月）
- ・幼稚園ホームページ（4月）に掲載

城南学園幼稚園

令和4年度 教育アンケートによる教育評価 保護者 210/212 回収率 99%

項 目	評 価		内 容	改善・充実の方向性
園の特色	A	A	幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感がもてる。(95%) ↑	幼稚園全体に明るく開かれた雰囲気が醸成され、数年来、園の特色として評価されている。最大の教育環境は教師である。資質能力の向上と職場環境の適正化に一層努める。
教育方針	A	A A A	「小学校につながる (97%) ↑↑ 総合学園のよさ (95%) ↑↑ 「共に育てる」関係づくり	大学院まで一貫しており、教育実習生と触れ合う機会があり、大学や大学院における保育の研究がフィードバックされているとの声が届くようになってきた。より連携の充実を図る。
教育内容	B	A B B	3つの力 (97%) ↑↑ 外部講師による教育 (94%) ↑ 行事内容・回数等 (96%) ↑↑	毎月発行の学年だよりに3つの力の具体的な姿を示しており、参観機会の復活により、遊びと教育のバランスがよいとの声が多く聞かれるようになった。教育内容の改善・充実を継続する。
運 営 力	A	A A	報告・連絡・相談 (92%) ↑ 全教職員で対応	保護者からは「園全体で見てもらえているという安心感がある」 保育者からは「園全体で情報を共有し対応するので安心である」との声がある。今後も徹底していく。
危機管理	B	B B	緊急情報の提供 (89%) ↑↑ 災害防止対応 (97%) ↑↑	インスタグラムを加えて、園での子どもの様子がよく分かるようになったとの声が多く届いている。文書の電子化を行う。
教 育 力	A	A B A B	幼児理解と誠実な保育(97%)→ 集団を活かした創意工夫ある保育 (92%) → 保護者との信頼関係の構築 (96%) ↑ 発達差、個人差に応じた保育 (95%) ↑	幼児期の特性を踏まえた幼児理解を基本に、対話による保育を園全体で実践しており、今後も継続していく。 発達に応じた集団づくりを推進するために、廃材遊びや表現遊びなど、創意工夫のある保育を園内研修により充実させる。 保護者とは対等であり、「共に育てる」関係づくりをめざし、今後も、丁寧な日々の対応を積み重ねていく。園の教育はわが子に合っているとの満足度は高い。個に応じた保育力をより高める。
施 設 設 備	A	A A B	安全・安心な施設 (100%) ↑↑ 清潔・安全な整備 (100%) ↑↑ 車送迎によるマナー	感染症防止対策の徹底、警備員の配置を続行する。 トイレなど専門スタッフによる清掃、安全点検を励行する。 駐車違反への厳しい声がある。モラル向上を促す。
給 食	B	B B	アレルギー等への対応 ((87%) ↑ 内容・量	現状では、アレルギー対応食を提供できないケースが複数ある。日々の給食指導の安全管理を徹底する。週4日から週5回の完全給食化の実施。栄養、メニューの改善・充実を行う。
通 園 バ ス	B	A B	安心・安全な運行 利便性 (94%) ↑↑	教職員によるダブルチェックに加え、園児の置き去り防止ブザーの設置を行う。バス停の増加など利便性について検討する。
預 かり 保 育	B	B B	安全・安心な運営 (80%) ↑↑ 利用方法の簡素化	働いていても預かり保育があるので幼稚園に通えるのでよいとの声の一方、盆休みが長い、預かり保育での給食を実施してほしいなどの要望もある。今後も改善・充実を検討する。
課 外 ク ラ ブ	B	A B	種類 内容・回数・料金 (89%) ↑↑	課外のクラブ数は10種類に増加し、課外クラブの人気の高いクラブの定員を増やしてほしいとの声がある。預かり保育の間に課外クラブに通えるので、特に仕事をしている家庭には好評である。教室、定員などの条件があり、調整が困難な状況である。

教育アンケートの結果について

<園の特色>



：保護者の声

「幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感が持てる（11）」では、199 名（95%）（+3%）が肯定的であり、「教員は、保護者との信頼関係の構築に努めている（17）」では、202 名（96%）（+0）が肯定的であった。

これは、園の経営方針「育つ幼稚園」のもと、共通理解・確認事項を徹底した指導体制を行うとともに、「共に育てる」保護者との信頼関係づくりに努めてきた成果であると受けとめている。家庭生活と園生活との連携により、幼児期の特性を踏まえたふさわしい教育環境を実現するため、今後も（11）と（17）に注力しながら、「共に育てる」関係づくりを推進していく。



「いつも幼稚園に行って感心いたしますのが、どの先生とすれ違っても明るく丁寧に挨拶してください。娘が幼稚園に入園する前の説明会の時の印象はとてもよく、入園後もいつでも優しく温かい先生方の雰囲気は変わりませんでした。娘も毎日楽しく幼稚園に通っており、とても明るくのびのびとして先生方の姿勢を日々近くで見ている娘は挨拶もしっかりできるようになりました。共に育てるという教育理念は、子どもたちはよく見ているのでよき手本になれるよう家庭でも私たち大人は気をつけなければならないと襟を正される思いであります。いつもありがとうございます。」

<教育方針と教育力>

教育力では、「園の教育は、お子さんに合っていると感じられる（4）」があるが、199 名（95%）（+3%）が満足されている。その要因として、「総合学園の特色を生かした専門性の高い幼児教育を展開している（1）」200 名（95%）（+9%）と、「教育理念「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育」は現代の教育課題を踏まえており、それに沿った教育活動が展開されている（2）」203 名（97%）（+6%）が肯定的で、本園の特色に期待して入園されてきていることが分かる。



「大学院まで一貫しており、上級生（学生）と触れ合う機会があり、先生方にも大学や大学院における保育の研究がフィードバックされ、質の高い保育をしていただけてよかった。」

「小学校につながる確かな教育を感じられて素晴らしい。小学生になった時に話を聞く力の差がありすぎて（高くて）驚きます！」

「答えを見つけだすことや、自立に向けてしっかり導きだしていただける。」

「子どもたち、先生の表情が明るくて楽しそうで、保育方針が確立されている。」

教員の指導力に関して、「教員は、子ども理解に努め、誠実に保育に取り組んでいる（15）」では、204 名（97%）（+0%）が肯定的で高い評価を得ている。

教職経験年数に関わらず、保育者の基本的な姿勢として極めて重要な項目である。園内研修でも、随時具体的な事例をあげながら日々の実践力につながるよう取り組んでおり、今後も引き続き取り組んでいく。



「年長になり良いことも気になることもその都度電話でご連絡頂き、園の様子をあまり話さない我が子なのでとても有難いです。お忙しい中、時間を取り、丁寧にお伝えしてくれて、本当に一人一人しっかりと見て、関わってもらっていることが伝わります、ありがとうございます。」
「先生はよく子どもたちに寄り添ってくれていて、先生の質や立ち振る舞いも素敵だと思います。」

「教員は、集団を生かした創意工夫ある保育に取り組んでいる（16）」では、195名（93%）（+3%）が肯定的で、一定の評価を得ている。集団を生かした保育については、園内研修の研究課題の一つとして設定しており、今後も実践力の向上を図っていく。

<教育内容>

教育成果として、子どもの成長が感じとりやすい園行事については、「園行事（内容、回数）に満足している（例）運動会、作品展、生活発表会（5）」では、201名（96%）（+10%）と肯定的で、昨年度より10%上昇した。

日常の保育を参観する機会を増やすなど創意工夫して実施したことに対するご理解や感謝の声も多く届けられている。行事等の目的を吟味しながら、今後もよりよい内容や実施の有り方についても引き続き模索していきたい。



「一つ一つの行事がとても充実しているのに、保護者の手を煩わすことなく、大変有難く思っているのですが、私たち保護者にも何か手伝ってほしいことがあればいつでも言って下さい。」

本園の教育内容「3つのからだ・こころ・ことば」の力を育てる教育活動に満足している。（3）」では、203名（97%）（+13%）が肯定的で、特に、参観機会の増加により、日々の教育活動や子どもの姿が見えやすくなったため、昨年度より13%上昇したと考えられる。毎月発行の学年だよりには、3つの力について、具体的な園児の姿を明示しており、この取組みに対する評価の声も届いている。今後も継続して、写真やFacebookに加え、インスタグラムを活用して発信し、教育活動の「見える化」を一層推進していく。



「昨年より参観など実際に園での子どもの様子、成長した姿が見れて嬉しく思います。」

「遊びと教育のバランスがよく、子ども一人一人のよさを引き出して下さる」

「子どもたちがいきいきと楽しんでいること、楽しいの中にしっかり教育活動があることが素晴らしい。」

<運営力>

「教職員間での報告・連絡・相談を生かした組織的な運営に努めている（12）」193名（92%）（+5%）が肯定的で、5%上昇した。課題が生じた際、教職員全員で課題を共有し、課題解決の方法等について確認している。教職員の危機管理に対する意識については、一人一人に応じた育成も行いながら組織力を高めていく。



「担任の先生だけではなく園に勤めていらっしゃる先生全体で子どもと関わって下さっていることが子どもの話から伝わってきます。明るく安心して預けることができる幼稚園だと思っています。」

「預かりの先生もとても親切で、迎えに行った時、些細なことも報告してくれとても嬉しいです。」

<危機管理>

「避難訓練、緊急メール配信、警備員配置など危機管理に努めている（13）」203名（（97%）（+9%））が肯定的で、「写真掲示、Facebook、HP、LINE、インスタグラムなどの情報発信に努めている（10）」187名（（89%）（+17%））であった。

コロナ感染の状況について、瞬時に情報を伝達できる利便性があるため活用できており肯定的な意見は9%上昇している。（10）についても、インスタを取り入れたことにより17%も上昇した。保護者にとって一番の安心は、タイムリーな情報発信であり、関心が高いことが分かる。また、文書の配布についても電子化を取り入れていく。



「インスタやFacebookなどで園生活を知ることができて、いつもアップされるのを楽しみにしています。世間では子どもを取り巻く暗いニュースが多かったですが、城南なら大丈夫と安心して子どもをお預けしています。」
「ペーパーレス化をめざして、LINE等の運用を希望します。」
「配布物の電子化を希望します。」

「アレルギー対応をはじめ、給食の安全管理に努めている（14）」164名（78%）（-3%）が肯定的である。分からないとする回答が43名（20%）とある。

毎年度、園内研修でアレルギー対応の実践的研修を行っているが、安全な給食のため、実施体制の管理を常に確認しながら実施する。今年度から温かい米飯の配膳を行い、子どもたちの食べる量も一段と増加した。次年度は、週4回から週5回へと完全給食化を行い、栄養価やメニューも含め改善・充実を図っていく。



「月曜日のパン給食におかずがないことにびっくりしました。あの給食では栄養が心配です。」
「全て給食にしてほしい。預かり保育時でも有料で給食にするなど選ばせてほしい。弁当持参が苦痛で仕方がない。」
「給食が自園調理になるともっと食べると思います。」

<子育て支援>

子育て支援として「早朝・預かり保育に満足している」（80%）（-1%）が肯定的で、7名の方が否定的なご意見があった。



「働いているお母さんでも預けやすくして質の高い保育をしてくれる。」
「働く世帯には、夏季保育の盆休み期間が長かったので配慮が欲しい。」
「預かり保育でもお弁当持参と給食の選択制があれば助かります。」
「課外クラブなど預かり保育が充実しており、共働きでも幼稚園に通うことが叶います。」

「バス送迎（ルート・方法）」には利便性がある（9%）（94%）（+16%）が肯定的であるが、6名の方から否定的なご意見をいただいた。園児の半数がバス利用しており、今後もルートの見直しやバス停の増加等、改善・充実を図っていく。



「バス停が少ないので増やしてほしい。他の幼稚園に通っているお母さんが何人かが諦めた理由です。」
「産前産後、送り迎えが大変なのでバスに乗せたかったが、近くにあるバス停は遅組の時間帯の

バスで、乗せられなかったのが残念でした。」

<まとめ>

経営方針「育つ幼稚園」のもと、「小学校につながる確かな学びの基礎を培う
幼児教育～豊かな遊びから確かな学びへ～」を掲げ、保護者の皆さまとは信頼
関係の構築に努めながら、3つの力を育てる教育活動を展開してきました。

今回のアンケート「園の教育はお子さんに合っている（4）」199名（95%）
（+3%）と感じられており、本園の教育は概ね良好な状態にあると受け止めて
います。

次の紹介するのは、教育アンケートでいただいた保護者の声です。「家庭と園
との両輪で、保護者にできることはお手伝いさせてください。」のように、「共
に育てる」関係に対する意識の高まりを感じています。

今後も、子どもを真ん中にして、保育者、保護者が「共に育つ」ような幼稚
園づくりに、教職員とともに励んでまいります。

貴重なご意見をありがとうございました。



「これからも前例にとらわれず、子どもに様々な経験をさせてあげられる魅力ある幼稚園でありつづけてください。そして先生方が心身ともに健康でいられるよう、
保護者にできることはお手伝いさせてください。家庭と園との両輪で子どもにと
って一番の幼稚園であり続けたいです。」



「私が一番感じていることは どの先生方もいつも明るく笑顔で挨拶をして下ったり、丁寧な言葉遣いで関わって下さったりしていることで、娘も園だけでなく色んな方に挨拶やお礼を積極的に伝えられるようになりました。

また、担任の先生のこと娘は大好きで、恥ずかしがり屋の娘が走って先生に抱きつきに行く姿を見て、沢山の愛情を注いで下さっているのだと強く感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちにとって1番身近である先生方が日々丁寧に愛情をたくさん持って保育して下さい、安心して預けられる幼稚園だと思います。」

城南学園幼稚園
令和4年度 学校関係者評価

協議員 集計結果
5名（大方・菅・山北・東上・竹内様）

項 目	評 価		内 容	協 議 委 員				
				A	B	C	?	ご意見・ご感想など
園の特色	A	A	幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感がもてる。(95%) ↑	5	0	0	0	Q：弁当から給食にしてほしいという意見は？ A：あえて週1回の弁当に固執することはない。保護者負担を減少し、給食の質的改善をめざした。 Q：幼稚園での文化を小学校につないでほしい。幼稚園がよかったので小学校にも行かせたいという保護者を増やしてほしい。 A：入学初期の教育の連続性は重要だと考えている。 ・園長先生の強いリーダーシップがあるからこそ幼稚園が育っている。アンケートでは、内的要因がA判定、外的要因がB判定となっている。外的要因については時間がかかるかもしれないが検討や改善をすればよい。 ・SNS掲載はイベント毎にされており、内容のクオリティも素晴らしい。 ・毎年評価委員会で一年の様子や来年度の目標をお伺いし、私自身も刺激をいただいている。幼稚園の文化として根付いてきていることが感じられる。地域や商店街として協力できることをしていきたい。 -コロナ禍で、保護者間のコミュニティが閉鎖的になってしまったことで、幼稚園についての理解がまだできていない保護者も多い。今後はクラス委員活動を増やしていきたい。 ・幼稚園の一番近くにて、「みんな（共に）で育つ」という意識が高まってきており「育つ幼稚園」を強く感じられる。幼稚園から入学される子どもたちをしっかりと育てて参りたい。 ・大学院まで一貫した総合学園としての幼稚園の在り方を保護者から評価していただきありがたいと思います。これまでの園長先生のご尽力と幼児理解への知見を深めるご努力があつてのことと思います。胸がいっぱいになりました。研究者としての知見を保育実践に生かされる姿が園の先生方に染みわたり幼児理解が深まった結果だと思います。この好評価を振り返りながら、さらに教育課程の質的向上に努めていただきますよう祈念しています。
教育方針	A	A A A	「小学校につながる(97%) ↑↑ 総合学園のよさ(95%) ↑↑ 「共に育てる」関係づくり	5	0	0	0	
教育内容	B	A B B	3つの力(97%) ↑↑ 外部講師による教育(94%) ↑ 行事内容・回数等(96%) ↑↑	3	1	0	1	
運 営 力	A	A A	報告・連絡・相談(92%) ↑ 全教職員で対応	5	0	0	0	
危機管理	B	B B	緊急情報の提供(89%) ↑↑ 災害防止対応(97%) ↑↑	3	1	0	1	
教 育 力	A	A B A B	幼児理解と誠実な保育(97%)→ 集団を活かした創意工夫ある保育(92%) → 保護者との信頼関係の構築(96%) ↑ 発達差、個人差に応じた保育(95%) ↑	5	0	0	0	
施 設 設 備	A	A A B	安全・安心な施設(100%) ↑↑ 清潔・安全な整備(100%) ↑↑ 車送迎によるマナー	3	1	0	1	
給 食	B	B B	アレルギー等への対応((87%) ↑ 内容・量	3	1	0	1	
通 園 バ ス	B	A B	安心・安全な運行 利便性(94%) ↑↑	2	2	0	1	
預 かり 保 育	B	B B	安全・安心な運営(80%) ↑↑ 利用方法の簡素化	2	2	0	1	
課 外 ク ラ ブ	B	A B	種類 内容・回数・料金(89%) ↑↑	5	0	0	0	

城南学園幼稚園

令和4年度 教育アンケート

15名

教職員用

	項 目	内 容	評価の観点	評 価 者					
				5	4	3	2	1	?
教 育 力	教育計画力	園の教育理念や方針に基づいた保育計画により、保育を展開している。	園の教育理念や方針に基づいた保育計画を立て、実施後に考察・評価を加えて保育の向上を図っているか。	7	7	1	0	0	0
	ことばの力	ことばの力を育成する保育活動をしている。	子どもたちは、絵本や話し合い活動が好きになってきているか。	12	3	0	0	0	0
	からだの力	からだの力を育成する保育活動をしている。	子どもたちは、体を動かす遊びが好きになってきているか。	12	1	2	0	0	0
	こころの力	こころの力を育成する保育活動をしている。	子どもたちは、挨拶・感謝・折り合うなどの心が育ってきているか。	11	4	0	0	0	0
			子どもたちは、友だちとの活動に楽しさを感じるようになってきているか。	11	4	0	0	0	0
経 営 ・ 運 営 力	組 織 力	チーム力を発揮する組織になっている。	園の職員会議、企画会議、学年会議は機能しているか。	11	3	1	0	0	0
			教職員は、教育方針を意識して日々の保育に臨んでいるか。	11	4	0	0	0	0
			教職員は、報告・連絡・相談を徹底して実行しているか。	10	4	1	0	0	0
			職場は、明るく開かれており、働きやすい雰囲気があるか。	13	1	1	0	0	0
	発信力	保護者や地域から「見える幼稚園」になっている。	HP・LINE・インスタグラム・園長室（学年）だより・写真掲示などは、「見える幼稚園」につながる方策になっているか。	13	1	1	0	0	0
			招待保育・園庭開放・体験保育は、園児募集に効果的であるか。	11	4	0	0	0	0
	連携力	城南学園の特色を生かした取り組みをしている。	小）体験入学・模擬テスト 高）見学との連携はできているか。	7	5	2	0	0	1
			大）教育実習・保育見学・夏祭り・クリスマス会など連携ができているか。	10	4	1	0	0	0
	安全管理力	安全・安心な環境づくりをしている。	防災マニュアルの作成など安全管理の対応は迅速・的確であるか。	12	1	2	0	0	0
	成長力	R=PDCA（自己評価システム）がある。	よりよい園づくりに保護者・教職員アンケートを活用しているか。	14	1	0	0	0	0
人 材 力	教員育成	園内研修が教育目標に向けて充実している。 園外研修が各自の成長課題に応じている。	園内研修は、日々の指導に生かされる内容となっているか。	14	1	0	0	0	0
			教職員は、各自の成長課題を意識して向上に努めているか。	14	0	1	0	0	0
	幼児理解力	個に応じたきめ細やかな保育力を高めている。	担任は、幼児理解に努め、保育に誠実に向き合っているか。	12	3	0	0	0	0
	保護者対応力	信頼関係を築き、保護者対応力を高めている。	担任は、保護者と良好な（信頼）関係を築くための努力をしているか。	13	2	0	0	0	0
そ の 他	特色ある 教育活動	小学校につながる学びの基礎を培う幼児教育を 豊かな遊びを通して展開している。	発達段階に応じた学びの芽生えを意識してみとり、振り返り活動で言語化や 対話などにより、気づきが深まるような働きかけをしているか。	12	3	0	0	0	0
	子育て支援	預かり保育・早朝保育の充実を図っている。	園は、無償化の趣旨に則り、子育て支援の向上に努めているか。	10	4	1	0	0	0

対 象：210 人回答/212 人（回答率 99％）

実施日：令和 4 年 12 月 記名式

1	総合学園の特色を生かした専門性の高い幼児教育を実施している。
2	教育理念「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育」は、現代の教育課題を踏まえており、それに沿った教育活動が展開されている。
3	3つ（からだ・こころ・ことば）の力を育てる教育活動が展開されている。
4	園の教育は、お子さんに合っている。
5	園行事（内容、回数）に満足している。例）運動会、作品展、生活発表会
6	外部講師による教育活動（英語・学習・体育・かがくタイム）は充実している。
7	課外クラブ（内容・回数・費用）は充実している。
8	施設・設備の環境整備は充実しており、清潔感がある。
9	バス送迎（ルート・方法）には利便性がある。（個人送迎の場合？を選択）
10	写真掲示、Facebook、HP、LINE、Instagramなど、効果的な情報発信をしている。
11	幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感がもてる。
12	教職員間での報告・連絡・相談を生かした組織的な運営をしている。
13	避難訓練、緊急メール配信、警備員配置など危機管理に努めている。
14	アレルギー対応をはじめ、給食の安全管理に努めている。
15	教員は、子ども理解に努め、誠実に保育に取り組んでいる。
16	教員は、集団を生かした創意工夫ある保育に取り組んでいる。
17	教員は、保護者との信頼関係の構築に努めている。
18	子育て支援として、早朝・預かり保育は役立っている。
19	子育て支援として、子育て相談「すくすく」、園長室だより、学年だよりは役立っている。
20	子育て支援として、園庭開放、親子広場、体験保育、たんぽぽ森は役立っている。
21	園は、教育アンケートなど、よりより幼稚園づくりに努めている。

令和4年度 教育アンケート

城南学園幼稚園

